



危ないのは電気ストーブ？ 石油ストーブ？ - 西日本防災システム

2014 11 11

意外な調査結果にご注意ください！

東京都は、平成25年までの5年間に、東京消防庁管内で発生したストーブ火災のうち、電気ストーブが出火元になったケースが約70%を占める調査結果を発表したようです。都民2万人に行ったアンケートでは、火災の危険が最も高いと思う暖房器具について約80%が石油ストーブと回答したそうです。日頃の安全意識と現実の火災とに乖離が生じているとして注意を呼びかけています。これは意外な結果ですね！調査によりますと、過去5年間のストーブ火災674件の出火原因で、最も多かったのは電気ストーブで、491件。石油ストーブは129件で2番目だったそうです。その一方で、アンケートでは電気ストーブが最も危険と答えた人はわずか4.2%だったそうです。ストーブの前面と可燃物の間に、安全基準とされる1メートル以上の距離をあげずに使っている人が60%にも及んだそうです。石油ストーブでは1メートル以上離して使う人が約60%いたのとは対照的で、安全意識に差が出た結果です。都の実験では、綿布団を電気ストーブから5cmの距離に置いた場合、実験開始から11分で白煙があがり、14分後には表面温度が500度にまで達し、30センチの場合も約5分で約100度となったそうです。都では「綿布団は400度前後で出火するとの文献もあり、100度ではやけどの恐れもある」と注意喚起しています。気候風土によって多少の誤差はあるでしょうが、注意したいですね！



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd



弊社top pageへ 